

令和5年第1回北杜市八ヶ岳スケートセンター管理運営委員会 議事録

日時：令和5年8月7日（月）15時～

場所：小淵沢総合支所 会議室

出席者：管理運営委員会委員8名

欠席者：4名

事務局：加藤教育部長、渡辺参事、田丸生涯学習課長、社会体育担当利根川、相良

傍聴人：1名

公開・非公開の別：公開

開会

委員長あいさつ

協議事項

（1）工事進捗状況について

～事務局より説明～

（議長）工事進捗状況について何か質問はあるか。

（委員）インラインスケートのコースを塗装するのか。

(事務局) 当初アスファルトの上に薄層舗装を考えたが、江戸川にある国際基準を満たしたインラインスケート場や他施設の視察を行い、国際基準まではいかないが似たような塗装施工を考えている。摩擦などを薄層舗装と比べたときに、違いがあるため変更を考えている。

(委員) インラインスケート 1 周 150m の根拠は。

(事務局) 1 周 175m でカーブ r13 が国際基準になるが、リンク内側のスペースではできない。インラインスケート協会へ相談し、1 周 150m カーブが r11 であれば国内大会の実施ができると聞いたため、計画している。

(議長) インラインスケートとミニリンクエリアは 6 年度からなのか。

(事務局) 来年度から利用が可能になる。

(2) スケートセンター運営及び目標設定について

～事務局より説明～

(議長) 去年は11月20日から2月11日までの営業で19,000人を目標としたが、実績は12,000人強だった。今年度は11月まで工事が行われるため12月2日から2月11日までの営業で、事務局として16,500人の提案があったが、何か意見はあるか。過去の最高値を去年は目標としていたが、PR不足があったかもしれない。今年についてはある程度認知されていると思う。

(委員) 昨年度利用者の内訳は。

(事務局) 一般で利用する方が市内1,500人、市外4,000人程度。各教室や市内の小中学校が1900人、市外の本郷小と境小学校が500人ほどとなっている。大会利用については500人いかなかった。氷に乗らない方が約2,000人、定期券利用が1,500人となっている。

(議長) 暖冬による中断中止があるかもしれないが、さまざまなことに取り組んでいただいて16,500人をクリアしていただきたい。土日にキッチンカーを前の駐車場で行う案があったが、検討していただきたい。

(委員) 去年は20日から始まったという情報やチラシがスポーツ少年団に入ってこなかった。今年は他競技のスポ少にもチラシ配布をしていただきたい。指導者に対するスケート教室を開催したいと思っている。スポーツ少年団は単種目をこなすことが目的ではない。

いろいろな活動をしてもらいたいため、冬場に教室を行いたいと思っている。

(議長) スポ少と親子教室がタイアップして開催するのはどうか。

(委員) まずは指導者向けに教室を開催して、スケートは面白いと思ってもらいたい。その次に学年ごと開催してあげたい。

(事務局) スポ少や指導者協議会の中で相談、指導者講習会の際にチラシ配布や PR させていただく。指導者向けの教室については、専門部会とも図りながら後日相談する。

(議長) スポ少指導者はどのくらいいるのか。

(事務局) 有資格者は3名。スピードスケート、ショートトラック、フィギュアの3種目あり、スピードスケートとショートトラックのOBOGに協力をいただいている。

(委員) スポ少に資格制度があるが、経験された方が指導することでスケートの楽しさが伝わるのではないか。

(議長) 幅広い方に声をかけていただいて協力していただければ、利用者数が増えていく

と思うので、お願いします。

(委員) リンク内側のミニリンクを作った際には小学校、保育園、幼稚園から競技ではなく、楽しいスケートをしてもらいたい。スケート連盟としては、選手だけでなく見る人などを含めたスケートファミリーを増やすことを大きな目標としている。スポ少の話と同じになるが、種目が違うとしても経験していればプラスになる。地下通路の整備やキッチンカーなど様々なことを実施しようとしていることは、選手強化とは異なるが、スケートファミリーを増やすチャンスかと思う。

(議長) 本郷小学校と境小学校にも早めに声をかけていただいて、少しでも多くの方に利用していただきたいと思う。

(事務局) 富士見町や原村、野辺山方面の自治体にも連絡したいと思う。

(委員) 去年は市内小学校すべてに利用していただいたが、何か問題点等があったか。

(事務局) 特になかった。

(議長) 今年度についても昨年と同じような形でお願いします。県から施設運営費の補助

をしていただいている。ありがたい。引き続きお願いします。

(委員) ぜひ有効に活用していただきたい。

(委員) センター前の狭い駐車場は整備しないのか。市営駐車場の案内があるが、センター前まで来ないとわからず、引き返さなくてはならない。施設の魅力や良い思い出があるとまた来ていただけることや、口コミで広めることが重要なのではないか。しっかり宣伝してもらいたい。

(事務局) 非常に手狭な部分となっているため、事務局としても課題となっている。キッチンカーを導入する場合、さらに駐車場が手狭になってしまうことが想定される。平日については保護者やバスの送迎により埋まることはない。年末年始については1日800人近く利用したこともあり、駐車場が混雑することがあった。現状は市営駐車場の利用を案内しているが、今後検討や工夫をしていく必要はある。

(議長) 年末年始は市営駐車場もいっぱいになるのか。

(事務局) 正面駐車場については混雑するが、市営駐車場が埋まることはない。

(委員) アウトレット駐車場は使えないのか。

(事務局) 今のところ使うことができない。

(委員) アウトレット駐車場が使えるとだいぶ違うが、財産区との交渉を進められないか。

(事務局) 財産区以外に地区との共有地になる。今すぐに借りることは難しい。市営駐車場に停めて遊歩道でセンターに行けるが、案内がない。駐車場の案内やアクセス方法を工夫していかないといけない。年間を通しての営業となると、今まで以上に必要になる。

(議長) センター入口の道路を渡ることが危ない。費用は掛かるが、ガードマンや警備員をつけるといいのではないか。運営にあたっては石油類が高騰しているため心配。

閉会